



類證辨異全九集卷之五

癆瘵門

癆證ノ本源

癆瘵ノ病只一端ノ事ニアラス神氣ト形體ト虚損シ心
氣腎精ヲ勞傷メ是ヲ得タリ心ハ血ヲツカサトリ腎ハ精
ヲツカサトル精汁ツキ血液カワヒテ卽勞サイ生ス

凡壯年ノ時血氣充滿シ精液全備ノア井ダタモ千慎メ
ズ酒食ヲ過シ房色ヤメスノ精元ヲヤフリ不食盜汗白
濁遺精シ面白ク燥キ頬クレナイニ體熱シ咳痰嘔血骨
蒸等ヲコル腎虚スルニヨツテ火邪盛ニ金ヲトロフ重キ
ハ半年ニ死シ輕キハ一年ニ死ス

凡醫者コノ病ニアハ、其人血氣未ヤフレズ精神未散セ

スニハ治スヘシ其血氣既ニヤブレ形體肌肉ケツリトル
コトク日夕ヲヨヒ發熱シ欬嗽シ人便泄セハ必治スヘ
カラス神丹聖藥アリト云共驗アラサル者ナリカクノコ
トクノ證醫者其本ヲキワメスノ或ハ大寒藥ヲスハメテ
イヨク其中ヲ虚シ或ハ大熱藥ヲ用テイヨク其血精ヲ
ツクス能ク慎ムヘシ

五勞六極七傷ノ說奇効良方ニアリ

五勞トハ志勞思勞憂勞心勞瘦勞是五臟ノ病ナリ勞
トハ神氣ヲツカラカスノ意ナリ六極トハ氣極血極筋
極骨極肉極精極是六腑ノ患也極トハ諸藏ツカレテ
主屬ノモノキハマルノ意ナリ七傷トハ心肝脾肺腎并二
内外ノ傷ナリ或ハ五藏ト并骨ト脉トノ傷也傷トハ形

容ヤフルハノ意ナリ

治例

血盛ナラハ	蒲黃	茜根	藕節	薊根
痰盛ナラハ	半夏	橘紅	茯苓	枳殼
喘盛ナラハ	桑白皮	陳皮	蘇子	瓜蒌根
熱盛ナラハ	山梔子	黃柏	黃芩	
風盛ナラハ	香附子	防風	荆芥	
寒盛ナラハ	人參	桂枝	五味子	
物ニヲトロキムナサワキセハ	遠志	茯神		
淋濁アラハ	猪苓	澤瀉ノ類		
小便シフラハ	木通	石韋ヒトツハノコトナリ		
遺精白淫アラハ	龍骨	牡蠣		

燥熱せハ

石膏 青蒿ノ類カラエモキノフナリ

盗汗イテハ

牡蠣 黃芪 麻黃根

病ノ淺物ハ

四花 膏膏ノ穴ヲ灸スヘシ

諸方ニ云此證ニハ蟲下ツテ心肺ノアイタラカムト必ス先
コレヲサルヘシ神靈圓ニテ吐出サスヘシ

此蟲ヲサラサレハ藏府ヲ食盡シ其人氣ツキマサニ死セン
トスル時九竅ヨリトヒイテカタワラノ怯弱ナル人ノ腹中
ニ入テ傳尸病ト成テ多ク人ニウツリワツラハシムル也
傳尸病ヲコホロムルノ法

先安息香ヲ燒テソノ煙ヲスハシムルニスワブキセサルハ傳
尸病ニアラス故ニ神靈圓ヲ用サレ煙ヲスワシムルニスワ
フキヤハサルハ即傳尸病也ヨロシク神靈圓ヲ用ヘシ

癆瘵之治方

神靈圓 癆瘵ノ諸蟲ヲサル

雄黃 鬼糞 天靈蓋 鼈甲 木香 輕粉 大黃

右細末シ酒ノ糊ニテ丸シ辰砂ヲ衣トナシ童便ニテ五
更ニ吞セヨ一時ヲヘタテ必蟲ヲ吐ス

地骨皮散 骨蒸壯熱肉ハレ力ナク子アセノタルヲ治ス

地骨皮 秦艽 柴胡 枳殼 知母 當歸 鼈甲等分

右剉桃ノ枝サキ烏梅ヲ入テ煎シ用ヘシ

地仙散 骨蒸肌熱シ一切虛勞ノ煩躁ヲ治ス

地骨皮 防風各一兩 甘草二錢半

右キザミ竹葉ヲ入セン服ス

清骨散 男女五心煩熱シ癆瘵トナラントスルヲ治シ骨

熱ヲ去事神ノコトシ

生地黄^{二兩} 人參 防風 秦光 赤茯苓 熟地黄^{各一兩}

柴胡^{二兩} 薄荷^{七錢半} 胡黃連^{半兩}

右判煎ノ服ス骨熱セハ少利スル藥ノ用テ後與ヘシ

人參散 邪熱經絡ニ客トシ痰嗽盜汗頭目クラクイタミ

手足ノタルキヲ治ス

黃芩^{半兩} 人參 茯苓 白朮 半夏 赤芍 杜仲

當歸 甘草 乾葛^{各一兩}

右判十ツメハシカミヲ入セシノ服ス

潤神散 勞サイ増寒發熱シ口カワキ咽カワキ自汗スル

ヲ治ス

人參 黃芪 竹葉 麥門冬 桔梗 甘草

右キサミセシノ服ス

散火湯男女ノ手足發熱シ肌熱シ筋レビシ髓熱シ是ヲ捫^{ミヌ}

スレハ手ノヤクコトクナルヲ治ス血虛ノユヘナリ

柴胡^{八錢} 白芍 人參 升麻 葛根 獨活 羌活^{各半兩}

防風^{三錢半} 甘草^{三錢一錢者炙}

右判ミセシノ服ス寒涼ノ物ヲ食スル事ヲイム

柴胡湯虛勞ニ榮衛順セス潮熱アツラ黃色ニヤセテ筋骨

ヨハリ痛ミ飲食進退アルラス

柴胡^{二兩} 秦光^{一兩半} 鼈甲^{半枚} 知母 甘草^{各一兩}

右判ミナツメヲ入煎ノ用ヘシ

五蒸湯骨蒸壯熱ノ通用

石膏^{三錢七分半} 生地黄 葛根 茯苓^{各二分半} 竹葉

人參 黃芩 知母 各一錢半 甘草 七分

右剉粳米ヲ入センノ用ヨ 海藻カヲレヲ忌ト

解勞散虛勞ノ堅積腹中ツ攻メ胃痛テ背ニトラルヲ治ス

白芍 半兩 枳殼 鼈甲 柴胡 各一兩 赤茯苓 甘草 各半兩

右キザミ生薑十ツヲ入センシ食後ニ温服ス

柴胡梅連散勞癆骨蒸久愈サルヲ治ス又五勞七傷ニヨシ

柴胡 前胡 烏梅 胡黃連 各等分

右剉童便ヲ入猪脊髓漙白ヲ加煎シ服ス三服ニテ悉イユ

遺精門

精之主宰ハ心ニ有リ精ノ藏制ハ腎ニアリ内經ニ曰精身ノ本生氣ノ源髓ノ化ナリ陽密ナレハ精即加仁シ陰陽離散スレハ精氣即ツク人ヨク道ニ法トツテレツカナレハ精氣

内ニタモツ智勞スル則ハ降ル者クダラズ升ル者ノホラス水火ヘタタリ真精自ラモリ交ラスノ遺泄ス要略ニ曰虛勞ノ病タルコト脉浮大手足煩陰寒テ精自カラ出泄ス元精皆精ノ論 父母ノ精氣ヲ得テ父子トナリ人トナル其根右腎左腎ノ間タ臍ノ下ニ有リ是人ノ元氣也是ハ生來ノ精也 食氣胃ニ入テ精ヲ五藏ニ散シ水飲肺脾ヨリ腎ニ通ス腎氣ヨモニ通シテ五經ラビニユク精コレラハ水穀日々ニ生スルノ精也其水穀ノ精生來ノ精ニ相隨テ五藏ニ分布ス

治例

夢ニ遺スル者ハ心ヲ治シ 精ノ滑ナル者ハ其ヲ堅シ漏者ハ其精ヲノブヘシ 濁ヲ赤キ者ハ心ヲ温ヘシ

濁テ白キ者ハ經ヲ温メヨ 白淫ノ者ハ榮血ヲ調ヘシ

遺精之治方

蓮肉散小便白ク濁リ夢ニ精ヲモフスヲ治ス

蓮肉 益智 龍骨

右等分ニ細末シテ空心ニ米飲ノウワスミニテ用

秘真散小便白淫精氣カタカラス及餘瀝アツテ夢ニ陰人

ト下シハリ泄精スルヲ治ス

龍骨一 縮砂兩半 訶子兩半 辰砂兩一

右末シテモキノリノニテ丸シ冷湯ニテ下ス

吐酸門

吐酸ハ熱ニ屬ス脾胃病ヲウクルナリ内邪ライフトキハ痰
飲宿食ノシワサナリ

治例 熱スル者ハサアスヘシ脾ハ濕ヲ惡ム苦ニテカワカセ

痰アラハ散メ涼フセヨ 宿食アラハ消シミキ引ヘシ

吐酸之治方

麴末丸中脘ニ宿食アツテ胃ヲコガシ心痛シ或ハ口ヨリス

ミツヲハフヲ治ス

神麴兩一 蒼朮兩半 陳皮兩一

右細末ノ薑汁ニテ神麴ノ糊ニテ丸ノ薑湯ニテ用ヘシ

痔門

諸證 坐痔ハシリノマワリニ肉珠アラハノ鼠ノ乳ノ如ク

ニテウミ血ヲ出ス 牝痔ハシリノマワリニ瘡ヲ生シ腫シ

痛ミ四五日ニウミツエテ即散ス 脉痔ハ尻ノマワリカ

タクサ子マリツブクトノ痛ミカユク血ヲナガシ膿水シタハル

腸痔ハシリノヲク結核シ血イデ寒熱往來シカワヤニ行
ク毎ニ脱肛ス 血痔ハ大便ニ行毎ニ清血下ルヲヤマズ
酒痔ハ酒ヲノムコトニ瘡イテキ腫レテ血ヲナカス
痔ト漏トノ辨 痔漏同シト雖ハ凡初シリノマワリニ生
シ物イテキヤフレサルヲ痔トイフ既ニヤフレ潰テ黄汁膿
血イテヤハサルヲ漏ト云ナリ

治例 大略熱ヲ解シ血ヲ調ヘ氣ヲ順シ血ヲスハシフ風
フサリ毒ヲ消ス

腸癖痔漏之逆順 便血ノ身寒ルハ吉便血ノ身熱スルハ
惡腸癖白沫ヲ下シ脉沈吉腸癖白沫ヲ下シ脉浮ハ凶
膿血ヲ下シ脉滑大ハ生膿血ヲ下シ脉懸絶ハ死ス

痔之治方

橘皮湯氣痔ヲ治ス 橘皮 枳殼 川芎 槐花 各半

檳榔 木香 桃仁 紫蘇 香附子 甘草 各二錢半

右剉ミ生薑十ツメヲ入煎服ス

乾葛湯專酒痔ヲ治ス 乾葛 枳殼 半夏 茯苓

牛地黃 杏仁 黃芩 甘草 各等分

右剉黑豆生薑白梅花ヲ入煎ノ服ス

加味四君子湯五痔下血面ノ色シホミ黃ニシ習サワキ耳

鳴リ足ヨハク氣トラク口燥ナ食味ヲ知サルヲ治ス

人參 白朮 茯苓 白扁豆 蒸 黃耆 甘草 各等分

右末ノ白湯ニテ点シ服ス一方ニ五味子有テ甘草ナシ

地榆散痔瘡ハレ痛ムヲ治ス 地榆 黃耆 枳殼 檳榔

川芎 黃芩 槐花 赤芍 紫活 各一錢 白薇 蜂房

甘草 錢半

右剉三煎用へし

黃芪飲痔瘡ヲ治ス 人參 黃耆 生地黄 川芎

當歸 和 升麻 條芩 枳殼 梔子 黃連

右剉三煎テ可用

清涼飲諸痔熱甚シク大便結ムルヲ治ス 當歸 赤芍

甘草 大黃 右剉三煎テ服ス

汗門

陰虛陽虛之分別 內經ニ曰陰虛スレハ陽必アツマニ發

熱ノ自汗ス陽虛スレハ陰必來ス手足ヒエ升テ目汁ス

目汗盜汗之辨 發散ニヨラズノ自汗出ルヲ自汗ト云

睡中ニヲホムスノ汗イツルヲ盜汗ト云血虛ナリ

諸證之因治 火氣ノホリ蟲胃中ノ濕汗ヲナサハ涼膈散

ヲ用ヨ雜病ノ盜汗ハ心虛ノ故也心氣ヲオサメ腎水ヲ

マシ陰陽調和シ水升リ火降レハ其汗自ラトヘム

別麴ニ汗ナク兩乳ノ間ニ計リ汗出ルヲハ心汗ト云也

思慮多ケレハ汗モ又多シ心血ヲ養フヘシ

凡黃耆黃連生地黃當歸ノ類ニテ血氣ヲ補ヒ以テ陽

ヲ制シ熱シツカニシテ汗ヲノツカラ止ルナリ

汗之治方

黃耆六一湯虛勞ノ自汗ヲ治ス 黃耆 甘草

右剉生薑ナツメヲ入煎スル也 白朮白芍ヲ加ヘテ佳也

當歸六黃湯盜汗ヲ治スノ聖藥也 黃柏 當歸

熟地黄 黃芩 黃連 黃芪

右剉煎ノ用ベシ

建中湯表虛ノ自汗ルヲ治ス

芍藥錢五

官桂各錢

右剉生薑十ツメヲ入煎テ服スヘシ黃耆二錢ヲ加テ黃

耆建中湯ト名ツク虛勞ノ自汗ニ良當歸二錢ヲ加テ

當歸建中湯ト名ツク婦人血虛ノ自汗ニ良シ

大建中湯虛熱ノ盜汗百節痛三口ニカク氣短ヲ治ス

黃耆 遠志 當歸 澤瀉各三兩 白芍藥 龍骨

人參各二兩 甘草炙一兩 右剉煎テ服ス一方ニハ桂心有

正氣湯盜汗ヲ治ス 黃蘗炙 知母各一錢半 甘草五分

右剉煎ノ食前ニ服スヘシ

經驗方盜汗及ビ陰汗ヲ治ス

牡蠣ヲ炒テ末ノ汗アル麴ニヌルヘシ

欬逆門

內經ニ曰歲金ノ太過欬逆スト又曰金鬱之發欬逆ヲ發

スト或ハ急ニ燥キタル物ヲ食シ氣フサカリ皆ニク欬逆ヲ

ナス欬逆トハ順ザルノ儀也皆氣ノクタル事ヲエサル故也

治例 カミヨリヲ以テ鼻ライロイ鼻ヲヒテトマルツラコト

ヲユヒツケ恐レ驚カシメテトマル鼻ニアツキ食ノニホイヲ

カガシメテトマル 右皆是ニテ驚カメ氣ヲ降スノ意ナリ

吐利ノ後胃虛寒ノ欬逆セハ羌活丁子柿蒂吐利ノ胃

熱シ燥キテ欬逆セハ橘皮竹茹ノ類若實スル者ハ傷寒

ノ下ヲ失シテ地道通セスノ欬逆スル者ハ是ヲ下スヘシ

傷寒ノ欬逆ノ分別 仲景カ曰傷寒ハ表虛シタルニ依テ

邪ニアタル其邪ヲ攻ル則ハ必欬逆ス又大ニ汗シ下シ

虛極テ欬逆ヲナス胃虛寒スル故也 橘皮 生薑 半夏

又陽證ニ潮熱有テ欬逆セハ柴胡 黃芩 橘皮 竹茹
陰虛ニ陽火俄ニ甚ソコミアゲ肺ニ入テ欬逆ナラバ熱
ヲ瀉シ火ヲ降スヘシ

久病ノ後或ハ産後ニ此證アラハ皆病深ノ意ナリ

欬逆之治方

橘皮竹茹湯吐利ノ後胃虛シ膈熱ノ欬逆スルヲ治ス

橘皮 錢三 竹茹 錢二 人參 錢二 甘草 錢一

右剉生薑ヲ入煎テ用ヘシ

柿蒂湯胃膈痞滿シ欬逆スルヲ治ス

柿蒂 錢五 丁香 錢三

右剉生薑ヲ入煎テ用ヘシ

半夏湯シヤクリソ死セントスルニヨシ

半夏 錢六 生薑 錢五

右剉煎テ服ス

橘薑湯胃寒テシヤクリスルヲ治ス 橘皮 乾薑 通草

桂心 人參 甘草 等分 右剉煎用ヘシ

枳殼湯諸ノ欬逆ヲ治ス 橘皮 兩三 枳殼 兩一

右剉煎服スヘシ

鼻衄門

衄血ハ肺ヨリ出ナリ 犀角 升麻 梔子 黃芩 地黃

芍 紫苑ノ類ヲ用ヨ是ニテ血ヲ涼シ血ヲメクラスヘシ

外治 井花水ニテ紙ヲヌラレ頂ノ上ニヲクヘシ左ノハナ

ヨリ出ハ左ノ中指ヲクハル右ノハナヨリ出ハ右ノ中指

ヲ系ニテクハル左右ヨリ出ハ兩ノ手ノ中指ヲクハル或ハ

蒲黃ヲ黒クイリテハ十二吹ヘシ又龍骨ヲ末ノ吹モヨシ

凡九竅ノイツル血ニ用ヨ

時行ノ疫癘等ノハ十血ヲ早ク留ムヘカラズ仲景カ云衄
血ヲハ解スヘシ

鼻衄之治方

芍藥湯ハ十血ヲ治ス 黃芩 芍藥 甘草各等分

右剉煎溫服ス

如聖散鼻血ヲ治ス 山梔子燒存性 右一味末ノ鼻ニ吹入ヨ

黃耆芍藥湯ハ十血出欬逆シ面黃一服瀕リテスクムヲ治

黃芪三錢 芍藥一錢半 升麻 羌活 葛根各一錢 甘草二錢

右剉煎テ食遠ニ可用

吐血門

吐血ハ陽中カンニ陰虛スルガ故ニ血シモニ不行炎上ノイ
キヲヒニ依テ升リイツ脉必大ニシテ乾也大ハ發熱乾ハ失

血リ凡陰ヲ補ヒ火ヲオサヘヨ

痰之前後之辨 先血ヲ吐メ後痰ヲ吐シ咳スルハ陰虛シ

火動シ痰不降四物湯ヲ用ヨ痰藥降火ノ藥ヲ加テヨシ

先痰咳有テ後血ヲ吐スルハ痰 積聚也早痰火ヲ可降

諸證吐血之例 嘔吐ノ血ヲハクハ胃ヨリイツ實セハ犀

角地黄ヲ用ヘシ虛セハ小建中湯 類ニ黃連ヲ加ヘシ

ヨダレト痰トニ血ノ交ルハ胃中ノ清血熱蒸メ出ル也ツヨ

キニハ梔子ヲ用ヨ輕キニハ監實ヲ用ヘシ俄ニ紫キ色ナリ

血ヲ一椀計リ吐メ別ニ煩ハザルハ苦カラスモトヨリ腹中

ニ有ル死血コオリフシ熱ノヤフリタル也四物湯解毒湯

ノ類ヲ用ヘシ舌上ヨリ血イテハヤメサルハ槐花ヲ一リ

末シテツクヘシ吐血シテ渴スルニハ葛根ヲ用ヨ

凡血ノワツラヒ上行ノ唾血衄血吐血ト下ルハ皆逆也
若變シテ下行シ惡痢ト下ルハ順也故ニ仲景カ云畜血
ノ證ニ血ヲ下ス物ハヲツカラ愈ヘシ

脉例 吐血ノ脉大ナル者ハ治シガタシ身熱スル者モ治
シ難シ身涼ノ脉靜ナル者ハ治シヤスシ脉經ニ曰鼻衄
吐血ノ脉流細ナルハ吉ナリ浮大ナルハ即凶ナリ

吐血之治方

赤芍藥湯胃ニ瘀血有テ心下フクレ食ニ入テ即嘔血スル
ヲ治ス 赤芍二兩 半夏一兩 陳皮一兩

右剉生薑ヲ入テ煎服スヘシ

三黃丸積聚有テ吐血シ咽膈利セスニ便秘澁スルヲ治ス
黃連 黃芩 大黃各等分 右末ノ丸シ服ス

犀角地黄湯傷寒ノ汗下ニ解セス經絡ニ鬱シ氣ニ隨テ

キ溢シテ衄ト下ル或ハ氣ノ道フサガリ流シテ胃ニイリ吐

血衄血ス餘血ツキスノ面黃ニ大便黒ヲ治ス

生地黃 白芍藥 牡丹 犀角銹分

右剉煎服ス潮熱シテ狂言セハ 黃芩 大黃ヲ加ス

黃芩芍藥湯虛シテ飲食スヘス衄血嘔血スルヲ治ス

黃芩 芍藥 甘草 黃耆等分 右生薑ヲ入煎メ用ヨ

咯血ヲ治スルニハ荷葉ヲアフリ末シテ又ル湯ニテ用ヨ

眩暈門

諸ノ眩暈ハ皆肝ニ屬ス肝風升リ攻テ眩ウンヲナス外四
氣ニ感シ内七情ニ敗ラレ氣鬱シ誕生ノ一時ニ眩ウン生ス
四氣之分別 風眩ハ汗有寒眩ハ頭ヲサクカコトクニ痛

暑熱ノ眩ハ熱ノモタユ傷濕ノ眩ハ手足ヲモク滯ル

内因ノ眩暈 七情内ニヨリ臟氣タイラカナラフ鬱レテ

痰涎ヲ生シ痰火ヲ生シ氣ニ隨テ升リ攻頭暈メカフ

ラ痛ミ目ヒラカレス女ハ陰血ヲ主トス産後ノ去血ニヨ

リ或崩漏帶下ニヨリ多ク損シテ陽氣ノタヨリナクシテ

眩ウンス男ハ金瘡吐血過酒房勞ニヨリ精血損シテ腎

氣ノタヨリナキニ依テ逆上シテ頭目眩ウンス

脉例 左手脉數ハ熱多シ 左手脉瀦十ルハ死血有也

右手脉實ハ痰アルナリ 右手脉大十ルハ是久病也

脉浮ニテ項強ハ風 脉緊ニテ筋引ツルハ寒也

脉虛ニシテ煩悶スルハ暑 脉沈ニシテ吐逆スルハ濕

治例 火ツノ痰ヲ動シテ眩せハ二陳湯ニ黃芩羌活加

濕ニ侵テ眩暈せハ腎著湯ニ川芎ヲ加ヘシ氣虛ノ眩暈

ニハ木香白朮陳皮半夏ヲ用血虛ノ眩ウンニハ當歸川

芎桂心用ヘシ風證有ハ川芎細辛寒證アラハ乾薑用

眩暈之治方

芎朮湯兩濕ニラカサレ眩ウン嘔逆頭重ノ不食スルヲ治ス

川芎 半夏 白朮各一兩 甘草半兩 右剉煎服ス

芎黃湯熱ノ頭目眩ウンスルヲ治ス

虎 荆 芎 風 右剉煎服ス

菊花散一切風ニアタリ頭目眩ウンシ面ハルヲ治ス

菊花 旋覆花 牛旁子 羌活 獨活 甘草各等分

右剉煎ノ食遠ニ服スヘシ

防風飲風痰氣發シ頭旋ノ嘔吐不食スルヲ治ス

防風 人參 橘皮各二兩 白朮 茯苓各三兩 生薑兩

右剉煎溫服ス 桃李雀肉蒜醋ヲ忌ム

癰癰門 附五癰

馬癰ハ口ヲハリ頭ヲフリ馬ノ如クニイハフルハ心ニ應ズ

牛癰ハ眼カタマリ腹フクレ目ヲミハルハ肺ニ應ス

羊癰ハ舌ヲイタシ上ルコトヲコノムハ脾ニ應ス

雞癰ハ頭ヲ振りソリカヘリ物ニ驚ハ胃ニ應ス

猪癰ハツヨクアハヲ吐ナリ腎ニ應ス

痰涎甚シキニ依テ心ノ竅ヲ塞ギタマシイ出入せザルニ
ヨツテ俄ニ倒レ卧手足ビクメカシ口眼引ツリ背脊ヨハリ
スツミサケビヨハハリアワツ吐ク食頃ニノヨミガヘリサム
ル也癰ハカクノ如ク五種有テ四藏一府ニ應ス癰ハ全ソ

心ノ藏ニ歸スルナリ

又兒癰ノ二證 風癰ハ風ニアタリ經絡通せず此病ヲ
成食癰ハ母或ハ子ノ飲食不節ニ依テ魚鳥ヲ過シ酸
ク辛キモノヲ食スルニヨツテ兒癰ヲヤム驚癰ハ母ノ胎
中ニ有テ驚ラウケ或ハ幼キ時物ニ驚カサレテ癰ヲヤム
治例 熱アラハ心ヲス、レフセヨ痰アラハ吐ノ法ヲ用ヨ
丹溪ガ云凡癰ヲ順ラスヲ先トシ火ヲタツ子テ凉シフス
ルヲ次トスサリナカラ痰ノ多少ハ火ノ多少ニ隨テ藥ヲ
用ヘシ 青黛 柴胡 川芎ノ類ニテ肝ヲ平ニスヘシ

癰癰之治方

續命湯癰ヲ發リモダヘ倒レテワツ吐ク四體ソリカヘリ目
カヘリ口ヲクヒツメ物ヲオホエサルヲ治ス

竹瀝二升 生地黄汁一升 龍齒末 生薑 防風

麻黃 防己 附子各二兩 石膏 桂心各一兩 右煎ノ服ス

二癰九小兒ノ百二十種ノ驚癇ヲ治ス

荊芥二兩 白礬一兩半 右末ノ服スヘシ

諸毒門

蠱毒ニアタル者ハ胃腹コハリ痛蟲ノカムカ如シ血ヲ吐下スルコト皆烏ノキモノ如シ

蠱毒ヲコハロシ明ラムルノ法 病人ニツヰキヲ水中ニ吐カレム沈ハ蠱ナリ浮ハ蠱ニアラス又大豆ヲフクマスルニフクレテ皮ムケナクサカラヌハ蠱ナリ大豆ヲフクレス皮ムケスレテナクサキハ蠱ニアラス又犀角ノカウカヒニテノ三物ヲカキタテハミルニ即アワタキヲコルハ蠱毒也アハ

ダチ發ラサルハ蠱ニ有ス又明礬ヲ含マスルニシブラズカエツテ其ハコレ毒也味ヒ常ノ如クシフクメ其ヲサレハ中毒ニ有ラス敗鼓皮ヲ黒焼シ末ノ方寸ヒヲ酒ニテ服スレハ必ス毒アタヘタル人ノ名ヲヨハワリ其病ヒ自ラ愈ユ諸毒之術治 漆ニマケタルハ蟹ノ汁ヲ付ヨ 半夏ノ毒

ヲハ生薑ノ汁或ハ薑ノ煎タル汁ニテ解セヨ 班猫ノトクヲハ大豆ノ汁藍ノシルニテ解ス 巴豆ノトクヲハ乾薑黃連ニテ解ス 附子ノトクヲハ防風ノセシシルニテゲス 麴ノトクヲハ大根ノシル同ク大根ノ實ニテ解ス 狗肉ノトクヲハ杏仁ノ煎レシルニテ解ス 河豚ノトクヲハ五倍子明ハンニテ解ス 自ラ死シタル鳥ケダ物ノトクヲハフルキ頭巾ノアカニテ解ス 茸ノトクヲハ地漿

ニテケス山梔子佳也

蟲毒之治方

國老飲蟲毒ヲ治ス 明礬 甘草各等分

右末ノ水ニテ調下ス黒涎ヲ瀉シテ良

神授散蟲毒ヲ治ス 升麻ノ末ヲ三錢溪水ニテ調下ス

一方ニ蚯蚓十四箇ヨキ醋一升ニヒタシミ、ツ死ノ後其
シルヲ服ス既ニ死シタル者モ生スルナリ

二仙散蟲ニ中リ血ヲ吐下スルノ鳥ノキモノ如クナルヲ治ス

苗根 蕤荷根各等分 右剉煎頻ニ可服蟲主ノ名ヲ呼テ愈

神仙解毒萬病圓五種ノ蟲毒ヲ治シ一切諸毒ヲ消ス

五倍子三兩 山慈苳 續隨子去穀研去油一兩 大戟一兩

麝香三錢別研

右麝香續隨子ヲ除ノ外末ノ其後二味ヲ合ノスリマゼ

ツヨキ餅ノリニテ丸ス薄荷ノシル或ハ井花水ニテ研テ用

ヘシ端午七夕重陽ノ日合スヘシ或ハ天德月德日モヨシ

家ヲキヨメ香ヲタキイカニモ正シク合ヨ婦人六畜已下

鷹猫或ハ六根不具ノ人大ニ禁ム此藥ハ癰疽惡瘡諸

風癰癰赤腫ヲ治ス或ハ狐狸ノ毒惡菌疫死ノ獸毒蛇

犬惡蟲ノ所傷ヲ治ス

健忘

憂思スクルニヨリ心胞ヲ損シ神舍ス、シカラス他事ニヨリ

多クワスル、也病心脾ニアリ精心短少ナルモノワスル、

事也痰アル者モ忘ナリ

治例 心脾ヲ兼ヲサメテ神安意定時イユ脾ヲ、サムル

二ハ 白朮 茯苓 甘草 遠志ノ類心ヲオサムルニハ
人參 菖蒲 木香 黃芪ノ類

健忘之治方

定志圓心氣サダメラス心カレテ多クワスルヲ治ス

遠志^二 人參^三 菖蒲^二 白茯苓^三

右末ノ蜜ニテ丸シ辰砂ヲ衣トナシ米飲ニテ調下ス

寧志膏心ホレテ物ワススルヲ治ス 辰砂 乳香^{各半}

酸棗仁 人參^{各一} 右末ノ蜜丸棗湯ニテ用ヨ

茯苓湯痰心胞ヲフサギワスレテ諸事ヲ失シ言語癡ノ如ク

ナルヲ治ス 白茯苓 陳皮 半夏 人參 香附子

益智^{各一} 甘草^{錢半} 右剉烏梅生薑ヲ入煎テ用ヨ

天地煎心血カワキ少ク口カワキ咽カワキ曾イキレテ寒物

ヲ望ミ心ホシ小便赤瘡イデキワスレヤスキヲ治ス

天門冬^二 熟地黄^一 右末ノ丸人參湯ニテ下ス

千金方ニツヨク物ワススルヲ治ス久ク用シハ聰明ニナリ

智慧ヲマス 龍骨 遠志 益智 右等分末ノ食後ニ

酒ニテ用日ニ二度

心ノアチフサカリツヨク忘レヲボエキガイスルヲ治ス七月

七日ノ蜘蛛ノイヘヲトリテ屍ノ中ヘ入ヨ人ニ知ラセサ

一即チ長ク物ワスス

一方ニハ戊子ノ日東ニサシタル桃ノ枝ヲ三寸キツテ枕ニ

スヘシ必ズワスル事ナシ

陰癩門

四種之癩 エフクリ 一腸癩ハヘノコハレ痛三黃水イツ

二ハ

二ハ

二二ハ氣癩時二大ニナリ時二小ニシテ或ハ痛ム三ニハ
升腎腫脹ハ片ヘノコ大ニシテ石ノ如シ四ニハ水癩ハ水
ヲツツミ大ニハルル皆コレ腎虚ニヨリ勞役ニヤフレ風濕
ニ侵レ結ソ散セス久ノ腎氣虚憊ノ癩ヲ生ス

治例 腎ヲ補ニハ茴香地黄ノ類風ヲ散スルニハ防風ノ
類濕ヲノックニハ木通枳實檳榔ノ類血ヲ通スルニハ桃
仁牡丹皮ノ類氣ヲ廻スルニハ橘皮昆布海藻木香ノル
イ已上脉ヲツマビラカニシ證ヲミワキテヘテコレヲ用又
關元ヲ灸スベシ臍ノ下三寸ニヤリ

陰癩之治方

橘核圓四種ノ癩病ヲ治レヘノコハレヤフレ黄水イツ玉
カタクハレ痛ミ臍ニヒ、キワツラウヲ治ス

橘核炒 海藻 昆布 海帶各洗 川練子 桃仁各一

厚朴 木通 枳實 玄胡索 桂心 木香

右末シ酒ノ糊ニテ丸シ鹽湯ニテ送下

牡丹散 小兒ノヘノコ一方サカリタルヲ治ス

防風 牡丹皮各等分 右末ノ鹽湯ニ点服ス

脱肛門

肺ト大腸トハ表裏タリ 肺ノ臟ニ熱ヲツ、ム則ンハ肛門

閉結ス 肺ノ臟虚寒スルトキハコウ門脱出ス

婦人小兒之脱肛 女ハ難産ノ時ツヨクイキハリ過ノ此

病アリ兒ハ久ク痢ヲ煩ヒ大腸虚ノ故ツコウト成ル

右各證ニシタガヒ虚實ヲ詳ニノ肺ヲ補ヒ腸胃ヲ補トキ

ハ自然ニ入ナリ

治例 血虚スルニハ四物湯血熱スルニハ黄蘗ヲ加ヨ
氣虚スルニハ人參黄耆川芎ヲ用ヨ 升麻ヲイム

脱肛之治方

香荆散コウ門脱出スルヲ治ス大人小兒イツレニモ吉

香附子 荆芥各等分 右剉煎メアツノコウ門ヲ洗

其後五倍子ノ末ヲヒ子リカケヤワラカニラシイレヨ

縮砂湯大腸虚メ熱シ脱コウ赤クハルハヲ治ス

縮砂 黄連 木賊各等分 右末メ空心ニ米飲調下ス

荆香散ダツコウヲ治メ妙ナリ 香附子 荆芥各半

縮砂三錢半 右末メ食前ニ白湯ニ調下ス

一方ニハ艾葉コク煎コウ門ヲヒタスヘシ即入

一方ニハ木賊ヲ黒ヤキニメ粉ニメコウ腸ニヒ子リカケヨ

一方ニハ五倍子ヲ煎明ハンノ末ヲ入テアラウヘシ

腋臭門

人ノ腋下ノクサキヲ胡腋ト云其イワレハ胡國ノ人其ワキ
各クサシ又狐腋トモ云其イワレハコ狸ノワキ其クサシ

腋氣之治方

一方ワキカヲ治メ神効アリ 密陀僧四兩 明礬枯二兩

輕粉三錢 右末メ腋下ヲアラヒスリ又ル半月ニ至テ

効アリ半年ニ至テ悉イユ

一方瑠璃ノ如クナル膽ハンヲ半分ハヤキ半分ハ其マ、末
メ輕粉少入テスリ合生薑ノ汁ニトキ合腋ノ下ニ付ヘシ
一方アツキツキタテノ餅一枚ヲニツニ引サキ密陀僧ノ細
末ヲ一錢ハカリヒ子リカケ急ニ兩腋ノ下ニハサミ少イ子

ムルヘシヒエタラハ是ヲステヨ一度ニテ病ノ根ヲ絶

一方コリヨリモワキノ臭ヲ治ス 白礬^枯 黃丹 雄黃

輕粉 鐵粉 右抹ノ毎夜皂莢水ニテワキノ下ヲアラ

ヒツワキニテ藥ヲトキ付ヨ

眼目門

內經ニ曰目ハ血ヲ得テヨク物ヲ見ルト蓋血ニハ亦太過
不及アリ太過ナル時ハ目壅塞ノ痛不足ナル時ハ目耗
竭ノ暗シ年少壯人ハ血ノ有餘ナルヘシ老人ハ血ノ不
足ナルヘシ是亦大槩ノ說也ナヲ詳ニ虛實ヲ察スヘシ
五輪火ニ依テ病ヲナスノ論 烏睛ヲ風輪ト云肝木ニ屬
ス火肝ヲカセハ目クラシ内眥外眥ヲ血輪ト云心火ニ
屬ス火自盛ナレハ赤眦目ヲツラヌク上トノ眇ヲ肉輪

ト云脾土ニ屬ス火脾ヲオカセハ下ヲタハルヘ也白睛ヲ
氣輪ト云肺金ニ屬ス火肺ヲカセハ人ミクモル也
右五輪ノ論俗醫皆コレヲ知ルレカモ目疾アルハツノ由
來ヲワキマヘス目ハ火ニヨラサレハヤマサル物ナリト

治例 腎經虛損シ目クラク久ミヘサルニハ空心ニ腎ノ

補藥ヲ用テ食後ニ清涼ノ藥ヲ用ヨ 肝經風熱ヲウケ
或ハ酒ニヤフラレ赤ク黃ナルニハ大黃黃連ノ類ヲ用ヘ
シ 脾經熱ヲウケマフタハレ風アルハシフリカユシ梔子
竹葉之類ヲ用ヘシ 肺經熱シテ肝ヲ尅シ漸々ケトナ
ル白下ナコニ瘡生シハルヘ也是ハ熱物ヲ食シタル故ナリ
桑白皮ノ類ヲ用 心經熱シ五臟ヲサカリ熱シテマシ
リ、カシラアカクレフルニハ梔子仁大黃連翹燈心竹葉

ヲ用テ治 風證ハ散ゼヨキツ花細辛防風黃芩荊芥
熱證ハス、シフセヨ地黃黃連決明子黃芩石膏 氣結
セハ順セヨ桑白皮升麻黃芩菊花 血大過ナラハ血ヲ
渴セヨ桃仁芍藥生地黃黃芩 血熱セハ地黃芍藥ノ
類ヲ用ヘシ 腎虛セハヲギノフヘシ五味子鬼絲子地黃
枸杞覆盆子 肝鬱セハ調ヨ梔子車前子當歸地黃

眼目之治方

二妙散肝ヲヤシヒ目ノラクナミダコボル、ニ良
當歸 熟地黃各等分 右細末シテヨキ酒ニテ調下ス
洗肝湯肝實ノ眼ヲヤムヲ治ス 人參 黃芩 赤茯苓
梔子 川芎 柴胡 地骨皮 甘菊花 桔梗各一兩
黃連 甘草各半兩 右吹咀ノ苦竹ノ葉ヲ入煎食後ニ用

瀉肝散肝熱ノ眼アカクハレ痛ムヲ治ス 梔子 荊芥

大黃 甘草各等分 右剉煎ノ服スヘシ

撥雲散風毒ヲ散シテケラシリツケ赤ク爛ル、ニヨシ

羌活 防風 蒺藜 荊芥 蠟蛻 甘菊花各等分

右細末シテ桑白皮ノ煎湯ニテ調下ス

同銘男女風毒并リ攻メ目ノラクマケイデ熱淚ナガレマフ
タ赤クタタシマシリマガシヲヨリ瘀肉サシ出テ人ミヲオ

カスヲ治ス 羌活 防風 柴胡 甘草各一兩

右剉煎服ス又細抹ノ茶ノ上ズミニテ調下 魚鳥溫麴
アフリモノヤキモノ風ヲ發スル等ノ物ヲイム

地黃散白マナコ赤クカユク風ニ向ヘハナミダ出シフツテ

開、難キヲ治ス 生地黃兩 赤芍半兩 當歸

甘草各半

右剉煎食後二溫服

細辛飲眼睛イタミコラフベカラザルヲ治ス

白芷 細辛 防風 赤芍各等分 右せんし服ス

明眼地黄圓男女肝虚し積熱ノボリ攻メテ發リ十三

夕多ク俄ニアカキヲ治ス腎肝損し風邪ノヲカスニヨシ

牛膝三兩 石斛 枳殼 杏仁 防風各四兩 生地黄

熟地黄各一兩 右末メ丸し食前ニ鹽湯ニテ送下ス

荊芥散肝經熱目アカクハルヲ治ス 荊芥 當歸

赤芍各一兩半 黃連 右剉煎三沸メナコヲ洗ハ

一方ニワカニアカク熱し腫レタル眼ヲ治ス 黃連 黃柏

赤芍 杏仁各等分 銅鐵一箇 右煎膏絹ノキレヲ浸し眼ヲ洗

一方ナミタ出不留ヲ治ス黃連ヲコク煎し其汁ニワタヲヒ

タシホシテノコヘ

一方目中ノ百病ヲ治ス乳汁ニテ黃連ヲ煎サイクアラヘ

一方虚勞ノ眼ヲ治ス三月ノナタ子ノ花ヲ取リカゲボシニ

ノ末し井花水ニテ毎日空心ニ用ヘシ久服スレハ長生

シテ夜細字ヲヨム

龍腦散 白丁香 龍腦 右等分細抹し極メ研テ眼ノ

角ニ指ヘシ

真珠散 真珠一分 蓬砂二分 龍腦二分 枯礬一分 石膏二分

右細末メイカニモ能クスツテ指スヘシ

珍珠散眼目ノ諸疾ヲ治ス 爐甘石一兩 煨而黃連煎

龍腦研一 麝仁一朱 白丁香去黑研

右細末シイカニモく久クスツテ指スヘシ

耳病門

耳ハ腎氣ノ通スルところナリ水ヲトロヘ火實スルニヨツテ
熱上ニ鬱シテ聽戸フサカリ神氣通セスレテ耳聾ス奇効
良方ニ云老人頭目昏眩シ上氣シ耳ナリヲホロナルハ皆
陽實シ陰虛スルノ證ナリ俗醫ノ目老弱虛冷シテ熱ナシ
ト是即大ナル誤也

耳聾ノ深淺凡氣歇ノ耳ヲフサギ聾スルハ治シ易シ氣順
流スル則ハ耳中壅塞ノワヅラヒナシ腎虛シ精脫シテ耳
聾スルハ治シ難シ色慾ヲ持テ難クシテ天真ノ元氣虛
シヤスク滿チ難キノイハレナリ

治例 陰虛シ火動ノ聾セハ四物湯ノ類ヨシ酒ヲ過シ耳
ナラハ枳殼柴胡大黃甘草青皮荊芥耳ヨリ膿ヲ出ス

ニハ龍骨枯礬赤小豆烏賊ノ末ヲ入ヨ 經脈虛シ風ニ
アタリ風耳脉ニ入り經氣フサガツテ聾スル者ハ頭痛ノ
證アリ風ヲ散シ氣通スヘシ防風羌活木通黃耆ノ類大
病ノ後ノ聾ニハ石菖蒲ノ煎汁ヲ耳ニ入ヨ耳ダレニハ香
附子毛ヲ去テ末シカミヨリニテ入ヨ百蟲耳ニ入ニハ雞
ノトツサカノ血ヲ入ヨ即蟲出又ニラノ汁ヨキ醋ヲ合耳
ニ入ヨモシ蟲イキタラハ火ヲ照スニ明ニムカツテ出ツ

耳病之治方

解倉飲子氣虛シ熱シフサカリ或ハウエテ暑ニアタリ風熱
升リ塞リ耳聾ニ膿出ルヲ治ス 赤芍 白芍各半
當歸 甘草 大黃 木鼈子去殼各二兩
右剉煎シ食後臨睡ニ服セヨ

一方耳ダレノ痛ミ膿出ルヲ治ス 五倍子炒乾一兩二分
右細末ノ耳中ニヒ子ル

透耳箇腎虛シ耳ノ内風水ノコエノ如クナルヲ治ス

椒目 巴豆 菖蒲 松脂各一兩 右細末シ薄ク紙ノ

上ニヒロゲ細ク巻テ耳ニ入ヨ一日ニ一度カヘヨ

犀角散風毒フサガリ熱シム子ニ痰アツテ耳レイ頭ヲモク

眩暈スルヲ治ス 犀角屑 前胡 井菊花 石菖蒲

枳殼 生地黃 澤瀉 木通 羌活各半兩 麥門冬一兩

甘草一分 右剉煎食後ニ服ス

一方ニ耳聾ヲ治スルニ鼠ノ膽ノ汁ヲ耳中ニ入ヨ妙也

一方ニ晝夜耳鳴リ流水ノコエノ如ク或ハカユキモノヲ治

ス生地黃ヲ棗ノ核ホトカミニ裹ミヌラシアツハイニウイ

シ耳ヲフサクサイクトリカエヨ

耳ニ水入タラハ薄荷ノ汁ヲシボリ入ヨ必効アリ

耳ノヲクニ物有テ出サルニ弓ノツルヲキツテカシラヲキラサ

シメテヨキニカワヲ付耳中ノ物ヲ付フ軟一引出スヘシ

鼻病門

鼻ハ肺ノ通竅清氣出入ノ道タリ肺和シ鼻調ルトキハ香

臭フシル熱陽明ノ經ニ客タレハツイニ血ヲせムミタリニ行

則ハ鼻血トナル冷滯ノ氣ハ十二塞カレハ香臭フカヘズ五

液熱ニ仍出ツ 肝熱スレハ淚イツ 心熱スレハ汗イツ

脾熱スレハヨタレイツ 肺熱ハレハ涕イツ 腎熱スレハツワ

キイツ

右是熱キワマレハ反テ汗イツルノ類也火ニテ金ヲ子ル

熱甚タシケレハ反テ化ノ水トナル

酒渣 酒ノ過シ氣血フサカリ上焦熱シ鼻ノサキ赤クハナ
ノ内ニ瘡ヲ生シミニクキヲ酒渣ト云外ニハ牛ノ耳ノア
カヲツケ内藥ニハ山梔子黃芩橘皮ノ類ヲ用ヘシ又黃
蘗苦參檳榔ヲ細末ノ猪ノアフラニトキ合ツケヨ

治例 寒セハ温力ニ桂心人參麻黃乾薑川椒 熱セハ
サマスニ黃芩荊芥 氣血フサカラハ通スルニ木香木
通 風寒結シトコヲラハ散スルニ防風升麻細辛川
芎菴活陳皮ノ類ヲ用ヨ 風熱升リハナ壅滯シ脉浮ニ
ノ他證無ハ藥ヲハナノ中ニ入テハナヒル時ハ開通ノ愈

鼻病之治方

開通丸ハナ塞カリ通ゼサルヲ治ス 葶澄茄_半 薄荷_{三錢}

荊芥_{錢一}

右末ノ蜜ニテ丸シ含ミトロカシ汁ヲノハ

葛蒲散鼻フサカリ通セスイキツガレザルヲ治ス

葛蒲

皂角_{各等分}

右末ノ一分ヒ綿ニツ、ミハナノ中

ヲ塞ギシハクアヲノキニ卧ヘシ

犀角散肺熱シハナカワキ涕ナク心神煩悶スルヲ治ス

犀角屑

木通

升麻

赤茯苓

枳實_{楚妙各一兩}

梔子_{二兩}

右末ノ食後ニ米飲ニテ調下ス

芎藭散鼻塞カリ香臭ヲカ、サルヲ治ス

川芎

辛夷_{各一兩}

細辛_{分三}

木通_{兩半}

右末ノ少シ計リ綿ニツ、ミハナノ

中ニ入ヨ寢ル時ハ替ヘヨ五七日ニシテ愈ユ

乳香散ハナアカク物イデキタルヲ治ス是ヲ酒渣ト云

硫黃

輕粉

細辛

乳香_{各等分}

右末ノ井花水ニトキ合せ付ヨ是肺ノ熱病ナリ

詩 赤鼻ノ肺風ヲ治ス

肺風赤鼻最難醫

我有良方付與伊

但用硫礬爲細抹

茄汁調塗始見奇

小兒ノ赤鼻ニハ黃丹雄黃ノ二味ヲ末メ水ニトキ合ツケ三

唇口舌門

唇口ハ肺經ノツカサトル處五味ノ入トコロナリ

四氣之分別 風多ケレハ唇動ク 寒多ケレハ唇カハク

燥多ケレハ唇カワク 熱多ケレハ唇サク

氣血之二證 氣鬱スレハクチビルニ瘡生スルナリ

血少ケレハクチビルウミテ色ナシ

味ニテ病ノ源ヲ知 ロノ鹹ハ寒也 ロノ酸ハ食ノ停滯

ロノシブキハ燥トナセ

ロノ水クサキハ虚ナリ

ロノアマクニガキハ熱也

ロノクサキハ胃中ノ熱ナリ

舌 心ノ別脉ハ舌根ニカヘル 心熱スレハ舌ハレ瘡生ス

脾ノ絡脉ハ舌傍ニ懸脾閉ル時ハ白胎ヲ生メ雪ノ如シ

肝ノ脉ハ舌本ヲ纏フ肝フサカレハシタヨリ血出ツ

風寒心脾ヲヤフレハシタコワクノモノイワス

熱塞カツテ心脾ヲ攻レハ舌腫シテモノイワレス

心脾虚メ風熱ス是ヲセムレハ重舌木舌出血ヲヤム

治例 ロ舌ノ瘡ハ上焦熱シ塞カルニ依テ也黃芩麥門

黃蘗黃連明礬ノ類 冷藥ニテ愈スハ中焦ノ不足ト知

レ理中湯ヲ含メ蘿蔔ノシホリ汁口瘡ヲ治ス類ニロヲ

ススケ ロ瘡ニハ明礬梔子柳葉灰各抹ノ口中ニフケ

口瘡久シクイエサルニハ黄栢ヲ炙末ノ付ヨヒシホス鹽
氣ヲイム 口吻ノカサニハ髮ノ灰古綿ノハイ黄連乾
薑各末ノ付ヨ又檳榔輕粉末ノツケヨ 木舌ハ急ニ針
ニテサシ腫減シ血出愈易 重舌ニハ皂角荆芥各末ノ
醋ニテトキ合ツケヨ同半夏一味イニテ煎メロススクヘシ
舌上ヨリ血出ルニハ黄連黄栢梔子ヲ煎シ頓ニ服スヘシ
傷寒ノ後古イテオサマラスハ巴豆一粒皮ヲサリカミツ
リニマキコメ鼻中ニ入ヨ必ヲサマルナリ

唇口舌之治方

甘露飲口ニ瘡生シタダレ臭クイエサルヲ治ス

黄栢半兩 青黛 甘草各二錢

右末シテ臨卧ニ一匕舌ノ下ニヲキ液汁ヲノム

同銘口舌ニ瘡ヲ生シ齒クキハレ痛ミ心熱スルヲ治ス

枇杷葉 石斛 黄芩 麥門冬 生地黃 甘草各等分

右剉煎メ時ヲサタメス温服ス

玄參散口舌ニ瘡ヲ生シ齒斷爛シ痛ムヲ治ス

玄參 升麻 獨活 麥門冬 黄芩 黄栢 大黃炒

梔子 前胡 犀角屑 甘草炙

右等分末シ煎メ温服ス

升麻飲脾胃熱シ風冷相乘メ唇ハレサ子テリ痛ヲ治ス

升麻 前胡 犀角屑 薏苡 甘草各半兩 葛根

龍膽草 竹茹各一 右剉煎シ食後ニ服スヘシ

升麻散心脾熱シ升リ胃塞カリ口舌ニ瘡生シ咽喉ハレ

痛ヲ治ス 升麻 芍藥 人參 桔梗 乾葛各一兩

甘草生半兩

右剉煎ノ温服ス

門冬飲心熱サカンニ舌上ヨリ血出ルヲ治ス

麥門冬

生地黃各一兩

甘草一分

升麻

茜根

各一兩半

右剉煎ノ温服ス

門冬飲心熱サカンニ舌上ヨリ血出ルヲ治ス 麥門冬

生地黃

各一兩

甘草一分

茜根

各一兩半

右吹咀シテ煎服ス

舌ヨリ故無ノ血ヲ出フ舌衄ト云槐花ヲ炒抹ノヒ子リ懸ヨ

牙齒

齒ハ骨ノ餘リ腎是ヲ主ル手ノ陽明ノ脉モ齒ニ入牙ニソク

危亦林ガ四證

牙齒熱シ痛者齒斷ハシ痛ニ冷水ヲオソ

或ハ血出ルニハ芒硝荊芥升麻地骨皮黃連生地黃之

類牙齒ヒエ痛ム者ハ熱湯ヲオソル乾薑葶撥細辛胡椒

良薑丁子秦椒ノ類 風ニオカサレ齒痛者ハ冷熱ヲオ

ソル皂角白薑蠶蜂房烏頭細辛荊芥獨活乳香之類

蛀牙ニハ必穴アリ齒斷爛シラトガヒアギト腫痛ムニハ

雄黃鶴虱縮砂秦椒皂角ノ類

牙齒之治方

丁香散牙齒ノ痛ミヲ治ス

丁香

葶撥

蝎梢

右末ノ痛所ニ付ヨツウキラハ吐ヘシ

川芎散面テハレ牙痛コラエラレサルヲ治ス 川芎 白芷

細辛 右等分抹ノ少し計リツケテヨダシ有ハ吐ヘシ

香附子散牙齒疼痛シヲコリサメテルヲ治ス 香附子四兩

細辛半兩

右剉煎ノアツクロスハクヒエハハケ

經驗後方齒ノ痛ニ甚タシキヲ治ス

雞屎ノ白ミヲヤキ粉ニシテ痛所ニ置キカムヘシ

香鹽散風冷ヲサリキハ堅クス

香附子炒焦

青鹽別研

右細末ノ痛動ク齒ノ下ハリハクキニ付必齒定ル

患牙ヲトルノ法

烏頭

草撥

各一兩半

川椒

細辛

各三兩

右末ノ患牙ノ内外ニケツヨ其齒必ヲツ

荆槐散キハノビ疼痛シ血イデヤマザルヲ治ス

荆芥

槐花

各等分

右末ノ痛ム所ニツケヨ

乳香丸蛀牙ノ甚ダ痛ムヲ治ス

巴豆肉

三枚

乳香

錢一

右研合丸ノ蟲クイ齒ノ穴ニ入置ヘシ

故ナク牙齒ノヒエテ血ノ出ルヲ治ス 香附子ノ皮毛ヲサ

リ判ミ生薑ノ汁ニ一夜ヒタシ干シテ末シテ口ヲスノキ

齒ニ付ヨ齒カタマリ動カスノ血トマニナリ

咽喉門

咽ハ嚥也咽門ハ胃ニトラル物ヲノミ胃ニイタル喉ハ肺ニ通メ氣ノ往來ヲ主ル也諸藏熱スレハノト腫ルナリ寒シハノト縮ル皆ノト閉ツ風燥ニヲカサレテノトヲ煩フ

咽ト喉トノ病ノ分別 久ク嗽ノ喉ヤフル痛ム類ハ咽門ノ病ニアラス辛熱ノ物ヲ過食シ或ハ嘔吐ニ依テ咽中腫治例 氣虛シ咽喉ニ瘡ヲ生セハ人參竹瀝ノ類奇効良方ニ曰纏喉風ツヨクハレ藥モトヲラサルニハ鼻中ニ入是ヲ吐セテ毒ヲ散スルノ藥ヲ付テ熱シリツイテ腫シ消ス

咽喉之治方

繫豆散喉痺トナ塞ガリ痛ミ甚シキヲ治ス

明礬錢二

巴豆二粒 去穀

右土器ニテ明礬ヲ火ノ上ニトロカシ其中

へ巴豆ヲイレテ沸キシツマリカワイテ巴豆ヲ去リ明礬
計リヲ末シテ少計リ筆ノ軸ニテコウ中ニ吹ヘシ

桔梗湯風痰上ニ塞カリノト腫レ痛ミ吞ミ吐キナラサルヲ

治ス 桔梗二兩 甘草各一兩

右剉煎食後ニ溫服ス又ハ甘草湯ト名ツク

射干湯喉痺ハレフサカリ痛食飲イラサルヲ治ス

射干 白芷 當歸各一兩 杏仁 升麻 犀角屑

甘草各半兩 右剉煎ニ溫服ス 海藻菰菜ヲイム

如聖湯痰熱シ咽ニ塞生シ食物イラス嗽血氣急ニ或ハ

小兒ノ瘰癧咽ヲセメ腫レ痛ムヲ治ス 麥門冬半兩

牛旁子 桔梗 甘草生各一兩

右剉竹葉ヲ入煎ノ用又末ノ竹葉湯ニ調下モ佳ナリ

一方咽喉閉チ塞カルヲ治ス 前砂研

右一味細抹シテ鹽梅ノ内ニヲシ合せ含ミトロカセ

一方喉痺シテモノ云レス息イテス既ニ難儀ニ及時用ヘシ

膽礬一豆計ヲ末シテ鴉ノ羽ニテ痛ム所ニ付ヨ即イユ

モシ膽礬ナクハイタダキノ髮ヲ抜キ去モ尤妙ナリ

諸蟲門

夫人ノ腹中ニ蟲アル事人ト共ニ生ノ人ノタメニ害ヲナス

蟲ノ證モ九種ノ分別有 一二伏蟲長サ四分是群蟲ノ主

也 一二蛔蟲長サ一尺此蟲心ヲツラヌケ人ヲ害ス 三二

白蟲長サ一寸多ク子孫ヲ生ズ甚シクメハ長サ數丈ニ至ル

四二肉蟲爛レタル杏子ノ如シ人ヲ煩滿セシム 五二肺蟲

形千カイコノ如シ人ヲノ咳嗽ナサシム 六二胃蟲形千
ソツニ似タリ人ヲノ嘔吐噦セシム 七二弱蟲カクテ
ナカコノ如シ人多ク唾ヲ吐カシム 八二赤蟲ナシキ肉
ノ如シ人ヲノ腸中ヲ鳴ラシム 九二蟻蟲イカニモ細カナリ
胴腸ニ居ス多クハ痔ナリ凡藏虚シ脾胃ヨワクシテ生
冷甘肥油膩海藻ノ類ヲ雜食シ時節ヨロシカラス停滯ノ
蟲ヲコル其證カラエツキニ酸水ヲ吐キ涎多ク痛ミヲコリサ
メアリ千金方ニ曰五藏勞スル時ハ熱ヲ生ス熱スルトキハ
蟲ヲ生ス 心蟲ヲ虬蟲トイフ 脾蟲ヲ寸白ト云 肺蟲
ハカイコノ如シ 脾蟲ハタダレタル杏子ニ似タリ 腎蟲ハ
寸ニ切タル線ノ如シ 五蟲皆ヨク人ヲコロス或人ノ説ニ
曰諸蟲皆カシラ下ニ向フサリヤガラ初一ヨリ初五ニ至ル

マラハ頭ヲ上ニ向フ故ニ藥ヲ用ル物多月脚以前ナリヘシ
三蟲トハ長蟲赤蟲蟯蟲ヲ云也

凡諸蟲ヲ治スルニハ寒熱虚實ヲ察シ脉ノ浮沈遲數ヲワ
キヘ脉ト證トニ隨テ藥ヲホトコスヘシ 又風寒暑濕ニ
侵レテ蟲ヲコラハ是ヲ散シ是ヲ温メ是ヲ漏シ是ヲサマヘ
シ煎藥ヲ用ヨ但シ蟲ノ藥ヲ加ヨ 七情鬱滯シ食事ニヨ
リ蟲發ハ是ヲ和シ是ヲ消ノヨシ九藥ヲ用ヘシ

諸蟲之治方

聖効散近久ヲトハス寸白蟲ヲ治ス 木香 檳榔各等分
右細末ノ先炙タル猪肉ノ類ヲ咀テ只汁ヲノミ滓ヲ吐
出即藥ヲ米飲ニテ調下空心ニ用レハ辰巳ノ刻ニ蟲下
雷丸圓蟲并ニ積ヲ治 檳榔 牽牛子各半 雷丸一兩半

棟根兩 大黃兩 皂角半 三稜 莪朮各二

木香隨意加入 右末ノ皂角ノ膏子ニテ糊ヲニテ丸ニ曉キ

茶ノ上清ニテ用ヘシ蟲下テノ後白粥ヲ食セヨ

安蟲散蟲ヲユリ心腹痛三面白ク口ヨリ清水ツ沫ヲ吐ヲ

治ス 胡粉炒 檳榔 鶴虱各二 白礬一分

右末シテ每服一字米飲ニテ調服ス

外臺秘要方ニ三虫ヲ治スルニ十下シキ桃ノ葉ヲ杵キシボ
リ一升ノムヘシ

寸白蟲ヲ治スルニカヤノ三四十箇皮ヲサリ日ノ朔ヨリ
七日マテマイ日七箇ツ、空心ニ服セヨ蟲消メ水ト成ル

癰瘡門

瘡證多ク其脉ヲトリコハロミズノ專ラ外ヲノミ攻メ治ス

凡串誠ニ誤ナリ 夫癰腫ノ生スル事ハ陰陽和セス氣血
壅滯スルニヨリ脉ヲ明キラメスノ何ヲ以テカ陰陽ノ虛
實氣血ノ聚散ヲ知ランヤ

脉辨 浮ニシテ數ナルハ發熱スヘキニツレ發熱セスカエ

ツテツ、ロサムキハ癰疽ノ生スルユエ也 脉洪大ナルハ

將ニ瘡ノススマントスル也未タウテザルモノハ下スヘシ

ウミツエテ後脉洪大ハ治シ難シ自利スル者モタスカラス

浮ニノ數ハ表熱也沈ニノ數ハ裏熱也仲景ガ曰ハ特ニ

數脉アラワレハ即惡瘡生スベシト 脉芤ハ血虛ヲ主

凡潰テ後芤ヲ得ルハ治シ易シ瘡モ潰テ後ハ苦シカラス

諸瘡ノ本源 內經ニ曰膏粱ノ變多ク丁腫ヲ生ス又曰

榮氣シタカワサレハ肉理ニ逆メ癰腫ヲ生ス又曰口

ツ

ツ

ツ

硬
起

ノ痛痒瘡ハ皆心火ニ屬ス蓋人火氣ニ近クハ先少熱ス
レハカユク甚熱スレハ痛ミ直ニサレツクレハ焼テカサ
テ皆火ノ用ナリ又曰熱血ニ勝時ハ即癰トナリナリ
癰ハ壅也淺ノ大ナリ疽ハ阻也深ノ惡シ癰ハ節也瘍ハ
頭ニアル小瘡ナリ癰ハ浮小也カサホロシノ類ナリ結核
ハ熱甚シキ時ハ鬱結堅硬ニシテ果中ノサ子ノ如シカナ
ス潰ヤフレサレヒ熱散スル時ハ自ラ消ス

内發外發之論 初テ疽ヲ發スル時麻子ノ如ク身體發
熱シ疽ヲ生スルノ所モ又熱シ何ニモ高クハ多ク痛ミ
ヤフレテ後肉色紅紫ナリ外發トナスヤレ大サ盆ノ如
クナリトモ能ク藥ヲ用テ治スレハ必ス愈ユ 初テ疽ヲ
發スル時身體熱セスツヨクヨダルク疽ノ生スル所モ熱

セス六七日間ニ漸クニ廣ク大ニメハレス高ラスヒイラ
カス痛マス爛レクホムヤフレテ後肉紫色ニシテ黒シ是ヲ内
發トナス未タイテキサル先ニ藏府ヤフレ損スル時ハ必
ス死スル也

五善之辨 一ニハ動息自ラヤスク飲食ノ味ヲシル 二ニ
ハ大小便常ノ如クニトノホル 三ニハ膿スミハレ消シ
クサカラス 四ニハ眼ヤキラカニ面ノ色ヨク聲常ノ如シ
五ニハ形體和シテ神氣タイラカナリ

七惡之辨 一ニハ煩燥ノ效シ腹痛ミ渴シ泄ノ小便澁ル
二ニハ膿血大ニ漏リ腫シ色トルヲハ甚シク痛ミ臭シテ
手ヲツケサセス 三ニハ喘氣シ短氣ニシテ心ホレオキス
四ニハ眼正シカラス黒眼小ニ白眼赤ク青クワラヌツカ

イヲナス 五ニハ肩背スクミ子ナリ手足ヲモシ 六ニハ
食飲ス、マスカラエツキヲシ食味ヲシラス 七ニハコエ
カレ色ヤフレ唇鼻アヲク赤ハ面目ウツハルル

右五善ノ中三ヲ見サハ愈ン七悪ノ中四ヲ見サハ危シ
内ヨリ外ニユキ外ヨリ内ニユクノ論 脉沈實ニシテ發熱煩
燥シ外ニ色トリ痛ム事ナク邪氣フカク内ニ甚シ故ニ
藏府ヲ疎通メテ病根ヲ絶ス 脉浮數ニシテ色トリハル
ル事外ニアツテ形證外ニアラワルオソラクハ邪氣極チ
内ニユクヘシ故ニ先裏ヲ托メヨシ

灸ノ灸之分別 灸ノ痛マズハ痛ンテ後灸ヲヤメヨ 灸ヲ
痛ハ痛マズメ後灸ヲヤメヨ 灸ノ痛ハサレハ先其潰ル
ニアタル故ニ痛マズ其後良肉ニアタル故ニ痛ム 灸ノ

痛ムハ先イマタツマサルニアタル故ニ痛ム次ニツエント
スルニアタル故ニイタマズ先又レカミヲ以テハレタル上ニ
オホフ即ハヤクカハク所是瘡ノカレラ也ニシニクヲアツ
クヘキ其上ニアテ、灸ス三壯ツ、ニテニクヲ取カヘヨ
灸ノ痛マズハイタマサルニイタレ灸メ痛スハ痛ニ至ルヘシ
瘡皮緩急之辯 癰疽ノカワヒキツリカタクイタムハヨシ
瘡ノカハウツケユルモノハアシ、 肺癰男女欬メ
習ノツコ痛ミ脚ハレ咽カワキ渴シイキレ唾キニコリナ
クサクニ便シフリ結ス是肺癰面ノ色白ク嘔吐ス膿ヲ
嘔吐止者ハ自ライユ膿ヲ後嘔吐シ面赤クウミヲハクコ
ト白粥ノコトクナル者ハ難治男ハ氣ヲ主トナス是ヲ得
レハ十二ニツニツスツスツ女ハ血ヲ主トナス是ヲ得レ

八十二七ツハツツスッ實スル者ハ先參蘇飲ヲ用テ
後桔梗湯虛スル者ハ先小青龍湯ヲ用テ後桔梗湯

乳癰 婦人乳ノサ子マリタルヲオソク治スレハ必癰トナル

乳房ハ陽明ノ經ニ屬ス乳頭ハ厥陰ノ經ニ屬ス或ハイ
カルニヨリ或厚味ニヨリ氣流行セス乳竅通セス汁出サ
レハ結ノ腫痛ム又陽明ノ經血熱スル時ハ膿トナル初テ
サ子タル時イタムヲコラヘシイテモミヤワケ血脉通和ノ
自然ニ消散ス是ヲ初二セザレハ癰トナル

治癰疽之例 身ヲモク脉緩ナラハ濕ヲサレ身熱シ脉大
ナラハ熱ヲサメセ諸瘡ニメクルメクト動搖スルハ脉弦ナ
ルヘシ風ヲ散ヨ氣シフリ氣トヘコブリ乾燥メ脉濡ナラハ
氣ヲ瀉シ血ヲオギノヘ 脉沈實ナラハ先内ヲスカメヨシ

脉浮大ナラハ先裏ヲ托セヨ 左ノ寸關洪緩ニシ弦ハ

客邪脉上皮膚ノ間ニアリ心汗ヲ發メ其榮衛ヲ通スヘシ
癰疽ヲ治スルニハ榮氣ヲ瀉スヘシ苦寒ノ藥ニアラサレハ
其痛ヲノツタ事アタハス諸瘡ニ痛ミアレハ俗醫往往ニ
芳香ノ藥ヲ用テ驗レナシ若シ經絡ヲ通レ藏府ノ積滯
ヲ去ハ必ス痛無シ苦寒ノ藥ハ必ス疼痛ヲ除ク

凡十二經ノ中ニ血結シ氣アツマレハ必瘡ヲ生ス專連翹
ヲ用ヘシ證隨テ藥ヲ加ヨ 瘡發メ渴セハ葛根 瘡發メ
嘔吐セハ半夏 瘡ニ渴シモタヘハ黃連 瘡ニ水ヲ吞ハ
澤瀉茯苓 カサニ大便結セハ大黃 大便カワキ通シ難
クハ桃仁麻仁 上焦ニ瘡アラハ黃芩 中焦ニ瘡アラハ
黃連 下焦ノカサニハ黃蘗知母防ヒヲ加ヘシ

先燥熟ノ後カサヤルハ胃火盛シ腎水ヲ黃柏ニテ補ヨ
癰瘡之治方

乳香散癰疽初テ發シ一二日ナラハ毒氣ノ心ヲ攻メテ
防クヘシ先此藥ヲ服スヘシ嘔吐スル物ハ大切ナリ

眞桑豆粉兩四 通明乳香兩一

右細末シ毎服二錢コク煎シタル甘草湯ニテ調下ス

解毒散癰疽始テオボユルヲ治ス 犀角屑 升麻 朴硝

赤芍藥 木通各一兩 石膏兩二 玄參 麥門冬

甘草各半兩 右剉煎シ溫服スヘシ

葛根散癰腫熱盛ニ口カワキ煩渴シカラヌツクヲ治ス

葛根 黃耆 升麻 麥門冬 瓜蒌根 赤芍藥

梔子 生地黃各一兩 黃芩三分 右剉煎服ス

内消散癰腫カタク結シ疼痛スルヲ治ス 人參 瞿麥

白藜 升麻 當歸 黃芩 防風 黃耆 沈香

甘草各一兩 赤小豆煮熟一合 右末ノ湯ニテ調下ス

清腫竹葉湯癰疽熱盛ニハレ痛ミイロトルヲ治ス

生地黃兩六 黃芩 芍藥 人參 知母 甘草

白茯苓各三兩 瓜蒌根 升麻 黃芪 麥門冬

右剉毎服一錢コク煎シタル竹葉湯ヲ入煎ノ服スヘシ

梅花飲初テ生シ熱ノ煩渴シ瘡毒内ヲ攻ムルヲ治ス

忍冬兩四 瓜蒌根 葛根 川芎 烏梅核和 黃耆

甘草生 蘇木各一兩 右剉煎ノ服スヘシ

五香連翹湯一切ノ惡核癰疽諸腫物ヲ治ス 大黃兩三

青木香 沈香 乳香 丁香 麝香 升麻 獨活

桑寄生 連翹 射干 木通各二 右剉煎溫服ス

五香湯裏ヲ托シ毒氣腹ニ入ヲ治ス別證有ハ加減ス

丁香 木香 沈香 乳香各二 麝香分三

右咀散メ煎シ服ス嘔セハ麝香ヲサリ藿香ヲ加

門冬湯癰疽ツエテ後膿水タエサルヲ治ス 麥門冬

黃耆 五味子 白茯苓 人參 官桂 當歸 遠志

川芎各一 甘草分三 右生薑棗入煎シ用

升麻湯臂ノ上ノ癰ヲ治 白芷半一錢 升麻

桔梗錢各一 生黃芩錢三 酒黃芩兩四 紅花 甘草錢各半

右セシ食後二服ス

内托連翹散疔瘡イデ皮ノ色ヘンゼス痛ムス推動カス寒熱ヲ發セハ卽針ニテサシテ後は服セハ自ラ消散スル

連翹 白芷 生地 赤芍各一 大黃 梔子 薄荷錢各七

朴硝二兩 黃芩半 甘草半一錢 右剉燈心竹葉ヲ入煎服ス

黃耆散癰疽ツエテ後ヲ治シ客熱ヲサリ虛ヲ補 黃芪

石膏各二 知母 麥門冬 白芍 白茯苓 桂心

熟地黃 人參 升麻各一 甘草兩半 右煎服ス

牡丹散肺癰生シ兩乳ノ間胃痛ニ膿血ヲ吐シ息キノ臭

ヲ治ス 牡丹皮 赤芍 地榆 桔梗 薏苡仁

升麻 黃芩 甘草生各一 右剉煎食後二服ス

内托升麻湯婦人ノ乳ノ堅クサ子メルヲ治ス 升麻

連翹 青皮 甘草各二 瓜蒌仁錢三 右煎食後二服

瓜蒌散乳癰妳勞ヲ治 瓜蒌仁錢三 乳香字二 右細末ノ

溫酒ニテ服ス熱甚シキ者ニハ石膏ノ抹少計加テヨシ

婦人ノ乳ハ堅ク痛マズ痒ミラス子マニヲ治 橘皮二兩
湯ニ浸シ白ヲ去末ノ麝香少入テ酒ニテ服セヨ甚妙也
乳癰瘡ニハウツハリノ上ノホコリヲヨキ醋ニテトキ合是ヲ
付ヨ妙ナリ又ヘノコノハレタルニモヨシ

又生地黃ノ汁ヲツキレホリ付ヨ乾カハ頻ニ付替ヨ必驗有
升麻飲心ニ風熱アテコガサノ多キヲ治ス 升麻 大黃

黃芩 枳實 芍藥各一兩 當歸各半兩 右燈心ヲ入煎用
一掃散疥癬ヲ治ス 防風 荊芥 苦參 地骨皮 薄

耳草各等分 右末ノ蜜水ニテ調下或丸シ茶清ニテ用ヨ
赤豆湯少年氣血トモニ熱シ瘡疥ヲ生シ變ノ腫滿トナリ

煩渴ノ小便澁ルヲ治ス 赤豆炒 當歸 商陸 連翹
赤芍 防己 猪苓 桑白皮 澤瀉各半兩 右剉煎服ス

熱甚レキニハ犀角ヲ加

諸ノ瘡疥赤腫ヲ治スルニ赤小豆ヲ末シ水ニトキ合カサノ
マワリ及ビ赤キ所ニツケヨアツキハ強ク子ハリテ後ノ力
タシ故ニ苧根ヲ末ノ赤小豆ニ加テ付ヘ子ハラスノ落
シ易シ又赤小豆ノ煮汁ヲ吞モヨシ

疥ノ付藥 羊蹄根生切一兩 草烏一兩 硫黃一錢 白礬半錢
生薑一錢 右末ノ泔ニ夜ヒタシスリ合ヨキスヲ入カサ

ヲ洗テツケヨレハラクメヌル湯ニテアラヘ
乾癬久ク愈スフタツカキハ十世ハ黃汁イデクモリ兩ノフル

毎ニ痒ヲ治ス 巴豆十枚能 右炭火ニテヤイテ油
盡テミツヲ少ハカリ加テスリ合ウスク付ヘシ

諸癬ヲ治スルニ生半夏二兩ツクダキフルキヒシホヲ入

スリ合癖上ニツケヨ日二三度

癰風ヲ治スルニハ先ヨキ布ニテナメツタテヤフリナスビ

ノヘタニテスリハガシ 附子 硫黄各等分 研合薑汁ヲ

入テツケヨ 又蛇蛻ノ煎汁ニテレゲクアラヘ必ス愈也

三十年モ愈サレ惡瘡ヲ治ス 大黃 黃連 黃芩各一

右末ノ瘡ヲ洗ヒノコイツケヨ日二三度 黃蘗ヲ加テ良

手足ノ惡瘡新久ヲトハズ治スルニ 黃栢ノウハ皮ヲサリ

蜜ヲヌリ炙カワカシ如此三度ノ剉末ノ水ニテコ子テ先

山椒ヒトモレノ煎湯ニテ瘡ヲアラヒ乾シ輕粉少シ瘡ノ

底ニオシ入具後黃栢膏アツクオシツケテ紅絹ニテカタク

ユウヘシツコカシハタラカスヘカラス瘡ノフタ落テ必愈也

又人ノ骨ヲヨクヤキテ末ノヒ子リカクルモ吉シ

折傷之治方

雞鳴散高キヨリヲキ或ハ木石ニオサレ瘀血痛ヲ治ス

大黃酒浸一兩 杏仁二十一粒

右煎酒ヲ少シツヘ曉雞鳴ノ時服スレハ明テ瘀血下ス

活血湯高キヨリヲキ惡血脇下ニ流シ甚痛ヲ治ス

大黃酒浸五錢 柴胡 當歸各二錢 桃仁五十粒 紅花半錢

天花粉 川山甲炮 甘草 右煎シ酒ヲ加食前ニ用

沒藥散打撲傷損シ或ハ落馬シ木石ニオサレ痛ムヲ治ス

乳香 沒藥 川芎 白芷 芍藥 甘草 牡丹皮

生地黃 右等分細末ノ童尿ノ小便ニ酒ヲ加調下ス

骨ヲクシキウキタガワシ腫ル痛ムニハ生葱ヲスリ爛ラカ

シナベニテナリ熱シアツキ時ニセタル上ニオシアテハ縮ニ

テツ、ミカラゲテラクヘシ冷水ヲノムヘカラス杖瘡ヲ治スルニ赤小豆ヲコトカニクダイテ痛ム所ニ付ヨ

溺水之治方 凡水ニヲボレ死シタルヲハ一宿モ猶スツフヘシ皂用ヲ粉ニシ綿ニテツ、ミ肛門ニ入ヘシ即水イテ即活スヘシ 又ヨキ醋半盞ヲ鼻ノ中ニ入ヨ

凍死之治方 手足スワミロクイツメテ只少イキカヨワハ釜ニテ灰ヲイリ温メ袋ニ入テ臂ヲ温メ醒メハ取替ヘヨ眼ヲヒラキ息イテハ其後粥ノウツ清ヲ少シノセヨ若曾ヲアタメズメ火ニテアフレハ必死スルトリ

魘死之治方 物ニオツワレ死セハ燈ヲ不可照前ニチカツイテ急ニ不可喚雄黄ノ末一錢ヲ桃枝ノ煎湯ニテ用骨鯁之治方 魚鳥ノ骨咽ニ立タルヲ治ス 縮砂、甘草

右等分末ノ綿ニ包ミ含テ汁ヲ吞ヘシ必ス痰ニ隨テツ一方象牙ヲ細末ノ水ニテコクスリヲロメノムヘシ一方鵬砂ノ末ヲ新汲水ニ調下ス

竹木刺之治方

ヨロツ物ノ立タルニハ牛膝ノ根ヲカミ爛ラカシ付ヨ一方黑豆ヲスリタ、ラカシ水ニ子ヤレツケヨ妙ナリ箭ノ子ノ肉ニ留リ或ハトギノヌケサルヲ治スルニ

巴豆 去皮半粒 羌蝦 大者一箇去足翅ヲ 二種同ク炒テ研マセ疵ノ口ニ付コ痛ミ必痒シ甚痒キ時疵ノ口ヲカキウコカセ必ス又クル也黃連湯ニテ洗ヒ牛ノキモニ石灰ヲトキ合付ヨ

自縊之治方

クビカ、リメ心下溢ナラハ朝ヨ、夕ニ及トモ治スヘシ静ニ

イダキカ、エテ繩ヲ切ニ繩ヲキラサレ和ニ喉ノ繩目ヲ
ヲシナシ兩耳ニ管ヲ入テ兩人ノ吹ヘシ一人ハ兩足ニテ
肩ヲ踏テ其手ニテ髪ヲヒク少モユルムヘカラス一人ハ手ニ
テ其臂ヲ下ヨリ上ヘサスリ舉ヨ二人ハ其手足ヲ何ニモ和ニ
ノベタリカガメタリノサスル若イキタラハ温粥ニテ咽ヲ可潤
一方ニハ即鼻下ノ人中ノ穴ニ針灸スレハ必スイク

蛇傷之治方

毒蛇ノ人ヲサシタルヲハ急ニ地坑ヲホツテ痛所ヲウツミ
カタク其上ヲキツクヘシ毒氣即土ニ入テ痛ミヤム
毒蛇ノ人ノ穴ニ入タルヲハ急ニ尾ヲ刀ニテサキ胡椒ヲハ
サミイトニテカラゲテヲケハ自ラ出ツヌクヘカラス
毒シヤニアタリタル人水ヲ渡ルヘカラスワタレハ痛ミ甚シ

毒蛇ヲサクルノ法雄黃ノカタマリタルヲ五兩カケテ身ノ
ウチニモツヘシ山路ニ入トモアエテ蛇近カツカス

馬嚼之治方

馬ノ人ヲカミタルニハ雞冠ノ血ヲ付ヨ陽馬ニハ雌雞ノ血
ヲ用ヘシ陰馬ニハ雄雞ノ血ヲ用ヘシ

犬咬之治方

人クラヒ犬ニクワレタルニハ明礬ノ末ヲ入テフタヲセヨイ
ヌメスタダレスノイユ

湯火傷之治方

一方生杏仁ヲトガリラステ、細末ノ水ニトキ合付ヨ
湯火ニ燒テ悶絶スルニハ急ニ小便ヲ吞セヨ
一方ニハ石膏ヲ取メツケヨ妙アリ

一方ニハ小麥ヲイリ黒クソ末ニ麻油ニトギ合ツケヨ

漆瘡之治方

ウルシニマケタルニハ迷ノ葉ヲヌリ合ツケヨ

一方ニハ蟹ノハラノ黄ナル物ヲ取テ付ヨ

一方ニハ山椒ノ煎汁ニテアラヘハ妙ナリ

暴瘧之治方

故ナク音聲イテサルヲ失音ト云

橘皮五

右剉水三盞入一盞ニ煎頓ニ服ス

一方

杏仁

三分去皮煎熬別研

桂心

一分末

右ヒトツニツキ子ヤシテ梅ノサ子ホトニ丸シ綿ニ包三合

三其汁ヲ静ニ吞ヘシ日ニ五度夜ニ三度取力ヘヨ妙也

鬱證之論法

夫氣血通和スレハ萬病生セス一モ悱鬱スレハ諸病生ス

故ニ人身ノ諸病多クハ鬱ヨリ生ス 白朮川芎ハスベテ

諸鬱ヲ治ス證ニ隨テ加味セヨ 氣鬱スルニハ香附子童便浸

蒼朮酒浸撫芎 血鬱スルニハ桃仁紅花青黛川芎香附子

濕鬱スルニハ白芷蒼朮川芎 熱鬱スルニハ山梔子青黛

香附子蒼朮撫芎 食鬱スルニハ香附子神麴山查蒼朮

痰鬱スルニハ海石香附子南星瓜蒌

越鞠丸諸ノ鬱證ヲ解ス 蒼朮 香附子 川芎 神麴

梔子 右末ノ丸シ用ヨ又ハ芎朮丸ト名ツク

中惡之論治

中惡トハ是人ノ精神衰弱ニシ鬼邪ノ氣卒ニアタル也其

形ナ卒然ノ胃腹サシ痛ミ悶亂シテ死セントス

凡中惡腹中ニミテ滿チ脉緊大ニシテ浮ナル死ス細ニシテ微ナルハ生ク

中惡ノ大ニ吐血ノ脉細數ナルハ死シ浮緩ニシテ疾者ハ生諸ノ邪鬼タハリ或ハ小兒ノ驚キム子サハキノ啼フソルヲ治ス安息香ヲ豆ツフホト焼テ煙ヲノマセシムレハ其邪自ラサレ

全九集之五終

